

事業報告附属明細書（事業別報告）

法人運営事業

法人運営事業（63,378,043円）

（1）主な収支状況

市補助金（人件費補助金）	53,745,988円〈収〉
会費（団体会員42件、個人会員1,249件、賛助会員26件）	526,700円〈収〉
ホームヘルプサービス事業（訪問介護事業）から繰入	600,000円〈収〉
地域福祉活動支援事業から繰入	7,735,630円〈収〉
人件費	54,459,459円〈支〉
人件費負担金	6,402,482円〈支〉
事務所使用料	561,339円〈支〉
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は3,742,261円）	
その他法人運営にかかる事務費等	1,953,007円〈支〉
法人運営事業積立資産への積立	1,756円〈支〉

（2）職員構成（平成31年3月31日現在）

▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長	1
センター長	1
事務局次長	3
総務係	2
地域福祉係	3
生活福祉係	2
在宅福祉係（ヘルパー、生活支援員を含む）	53
地域包括第1係	12
地域包括第2係	12
合 計	90

▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	3
一般職員	16
嘱託職員	20
臨時職員	3
非常勤職員	48
合 計	90

（3）固定資産物品取得状況

固定資産物品名	台数
パソコン	3
合 計	3

(4) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量
車いす	221
高齢者疑似体験グッズ	9
盲人用安全杖	8
楽器セット	4
プロジェクター一式	17
合計	259

(5) 保有個人データの開示状況

開示請求件数 1件 (心配ごと相談事業1件)

(6) 苦情受付状況

苦情受付件数 1件 (福祉サービスの内容に関わる事項1件)

苦情については、苦情受付担当者及び苦情解決責任者での対応で解決し、第三者委員への相談はありませんでした。

また、利用者からの苦情に対し、適切に対応することにより利用者の権利を擁護するとともに、福祉サービスの質の向上に努めました。

(7) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
橿原市社会福祉協議会地域包括支援センター事業評価	5月17日	橿原市地域包括支援センター及びかしはら街の介護相談室事業評価会議

(8) 後援・協賛等の状況

▽後援

催名	主催	日程
当事者講師による学習会 知的に障がいをもつ私たちの地域での暮らし	あかるいみらい準備室	8月4日
知ればトクする！認知症予防と成年後見	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート	9月9日
まほろばフェスタ in かぐやま	「いきがい・あそびの広場」研究会	9月16日
社会福祉法人日本盲人会連合結成70周年記念第64回全国盲青年研修大会 (奈良県大会)	社会福祉法人日本盲人会連合・同青年協議会 一般社団法人奈良県視覚障害者福祉協会・同青年部	9月16日～17日
傾聴ボランティア「えがお」講演会	傾聴ボランティアえがお	11月16日
平成30年度「かしはらしボランティアフェスティバル2018」	橿原市ボランティア連絡協議会	12月4日～9日
第12回赤い羽根歳末たすけあい新作カレンダーチャリティーバザー	社会福祉法人奈良県共同募金会	12月7日～11日、15日～16日、19日～20日、25日～27日、1月5日～9日

第41回奈良県保育研究大会	奈良県保育協議会	12月15日
平成30年度奈良県児童福祉施設連盟・音楽交流会「第21回“アート・コミュニケーション”2019」	奈良県児童福祉施設連盟	2月9日
傾聴ボランティア「えがお」講演会	傾聴ボランティアえがお	2月14日
まほろばレクリエーション・エコ・チャレンジフェスティバル	「いきがい・あそびの広場」研究会	3月3日
第30回明るい社会づくり講演会	明るい社会づくり運動中和ブロック協議会	3月14日

▽全国社会福祉協議会「福祉救済活動資金援助制度」への拠金 20,000円

(9) 平成30年7月豪雨災害の復興支援活動

▽職員派遣状況

派遣先	派遣職員	派遣期間	内容
倉敷市災害ボランティアセンター	西薺公志	7月28日～8月1日	センターの運営支援
倉敷市災害ボランティアセンター	谷口真央	8月31日～9月3日	センターの運営支援

▽義援金活動状況

内容	金額
平成30年7月豪雨災害義援金の受付（7月25日～12月28日）	11,258円

(10) その他

▽健康診断

ストレスチェック（8月21日～30日）36名受検

VDT健康診断（11月8日、15日）7名受診

定期健康診断（1月9日）76名受診

▽ドライブレコーダーの設置（8月25日）6台設置

▽奈良県いっせい地震行動訓練に参加（7月9日）

▽消防訓練（避難訓練）の実施（3月25日）

役員会等事業（110,784円）

(1) 主な収支状況

地域福祉活動支援事業から繰入 110,784円〈収〉
 理事会・評議員会、研修会等の開催にかかる事務費 110,784円〈支〉

(2) 理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	4	12	54 （監事含む）
社会福祉協議会評議員会	2	4	30 （理事・監事含む）
共同募金会橿原支会運営委員会	2	2	26 （監事含む）

(3) 委員会等開催状況

区 分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	1	3
評議員選任・解任委員会	1	5
感謝状贈呈審査委員会	1	5
職員採用試験委員会	3	15
職員衛生委員会	2	18
高齢者虐待個別ケース対応調整会議	18	98
共同募金会檀原支会監査	1	3

※監査及び評議員選任・解任委員会については、出席理事数を含む。

(4) 役員等研修状況

研修名	開催日	内容	参加者数
役員等 研修会	10月5日	防災研修「被災地支援と檀原市の被害想定」 派遣報告 被災地支援のための職員派遣について 報告者 檀原市社会福祉協議会職員 講演 檀原市の被害想定について 講師 檀原市危機管理監 <small>たてつみつひろ</small> 立辻満浩 氏 檀原市生活安全部危機管理課 課長補佐 <small>やまもとともみ</small> 山本知巳 氏	23

広報・啓発事業

広報発行事業（397,656円）

▽社協だより「いきいき」の発行

第49号（平成30年7月）、第50号（平成30年10月）、第51号（平成31年1月）、第52号（平成31年4月）を発行（「広報かしはら」に折込）する。

▽ホームページによる情報発信

社協ホームページ <http://ww9.sakura.ne.jp/>

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入 397,656円（収）

社協だより「いきいき」発行費 397,656円（支）

（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は1,431,559円）

啓発事業（1,195,796円）

▽ふれあい・いきいき祭～檀原市健康と社会福祉の祭典～

健康と社会福祉に関する諸情報を提供することにより、市民に対する健康づくり及び社会福祉制度の啓発を行い、乳幼児から高齢者までの生涯にわたる健康と地域福祉の推進を目的に市と共同で開催する。

開催日 10月21日

場所 かしはら万葉ホール及びその周辺

参加者 延8,585名

内容

- ・式典 感謝状贈呈者 50名
大会宣言、共同募金に対する感謝のこぼ
- ・講演会 歌手・俳優 ^{はしゆきお}橋幸夫 氏
- ・その他、啓発ブース「みんなの福祉コーナー」「赤い羽根共同募金コーナー」「地域福祉推進コーナー」、クイズラリー、各種体験コーナー、バザー、パネルシアター、着ぐるみによる啓発活動等の実施

▽春の神武祭参道パレードへの参加

開催日 4月8日

場所 ジェイテクトアリーナ奈良前～表参道～橿原神宮一の鳥居前広場～橿原神宮前駅中央口広場

参加者 48名

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	1, 195, 796円〈収〉
ふれあい・いきいき祭開催費用	1, 193, 396円〈支〉
春の神武祭参道パレード参加費用	2, 400円〈支〉

地域福祉活動支援事業

地域福祉活動支援事業（14, 143, 607円）

(1) 主な収支状況

市補助金	1, 120, 000円〈収〉
共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	978, 732円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい募金配分金）から繰入	1, 859, 925円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	1, 491, 590円〈収〉
地域福祉基金運営事業から繰入	576, 840円〈収〉
地域活動積立資産の受取利息	2, 607円〈収〉
地域活動積立資産の取崩	8, 150, 000円〈収〉
各小学校区地域福祉推進委員会への助成金	5, 493, 106円〈支〉
広報・啓発費用	159, 062円〈支〉
その他地域福祉推進のための事務費	390, 791円〈支〉
取崩した積立資産の一部を各事業に繰出	8, 100, 648円〈支〉

(2) 第4期地域福祉推進計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）の策定

▽橿原市地域福祉推進連絡協議会の開催

開催日	内容	参加者数
7月13日	・第4期地域福祉推進計画の策定について	18
11月27日	・アンケート調査結果報告について ・第4期地域福祉推進計画（素案）について ・パブリックコメントの実施について	18
2月13日	・第4期地域福祉推進計画（案）について	16

▽橿原市地域福祉推進計画策定委員会の開催

開催日	内 容	参加者数
7月20日	・第4期地域福祉推進計画の策定について ・計画策定スケジュールについて ・アンケート調査の実施について ・ヒアリング調査について	16
11月27日	・アンケート調査結果報告について ・「地域住民の相談を包括的に受け止める体制」についての意見交換会の実施報告について ・第4期地域福祉推進計画（素案）について ・パブリックコメントの実施について	15
12月27日	・第4期地域福祉推進計画（案）について	15
2月13日	・パブリックコメント実施結果について ・第4期地域福祉推進計画（案）について	14

▽橿原市地域福祉推進計画庁内検討委員会に参加（3回）

▽アンケート調査・ヒアリング調査等

市民アンケート（回収率47.2%）

対象 満16歳以上の市民2,000人を無作為抽出

期間 8月6日～8月31日

地域福祉推進委員アンケート（回収率78.0%）

対象 地域福祉推進委員200人を無作為抽出

期間 8月20日～9月14日

16小学校区地域福祉推進委員会ヒアリング

期間 9月7日、8日、10日、11日、12日

「地域住民の相談を包括的に受け止める体制」についての意見交換会に参加

実施日 10月15日

パブリックコメント

期間 1月4日～2月3日

(3) 各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区の地域福祉推進委員会の活動が、橿原市における地域福祉の充実に寄与していることから、同委員会の運営及び活動に対し、助成・支援する。

(4) 市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内16小学校区地域福祉推進委員会で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携を強化するとともに、校区間の情報の共有化を図り、地域福祉ネットワークを構築するため支援する。

(5) コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉の推進を図るため、地域福祉推進委員会等が実施する事業で送迎サービスを行う場合に、社協が所有する自動車をコミュニティ自動車として貸与する。

利用状況

車 種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン（10人乗り）	3	87	1,422

見守り活動支援事業

見守り活動支援事業（1,699,273円）

▽見守り活動支援事業

住み慣れた家庭や地域で安心して生活できるよう、ひとり暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を目的とした地域の見守り活動を支援する。

実施団体数 8団体

実施対象者 延21,307名

▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者世帯等に対して、ボランティアが電話で訪問し、ふれあい（話し相手や見守り等）により、安心して暮らせるよう支援する。

実施日 毎週火曜日（午前10時～午後3時）、金曜日（午前10時～正午）

協力ボランティア 延447名 電話訪問件数 延1,728件

（1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	9,500円（収）
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい募金配分金）から繰入	1,689,773円（収）
見守り活動にかかる事業費	1,689,773円（支）
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	9,500円（支）

ふれあいサロン事業

ふれあいサロン事業（7,371,959円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の方を対象に、体操や手芸などの活動を行い、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防することを目的に開催する。

（1）主な収支状況

市受託金	7,371,959円（収）
ふれあいサロン活動のための助成金	6,896,165円（支）
広報・啓発費用	159,062円（支）
その他事務費	316,732円（支）

（2）ふれあいサロン実施状況（於：各地区公民館等）

地区名	名称	実施回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	43	1,191	毎週土曜日 午前9時～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	49	1,727	毎週土曜日 午前9時30分～午前11時30分
金 橋	金橋地区ふれあいサロン	38	1,414	第1・第3土曜日 第2・第4・第5金曜日 午後1時～午後4時 ※金橋地区公民館の改修工事のため4月～10月の間、一部変更あり

新 沢	新沢地区ふれあいサロン	4 5	1, 0 7 3	毎週火曜日 午後1時～午後4時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	4 4	1, 1 7 5	毎週土曜日 午後1時～午後4時
晩 成	晩成ふれあいサロン	4 4	2, 4 0 2	毎週木曜日(第5木曜日を除く。) 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	2 3	8 5 3	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	2 1	1, 0 5 8	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 櫃	サロンしらかし広場	4 3	2, 1 6 5	毎週金曜日(第5金曜日を除く。) 午後1時～午後3時
耳 成	ふれあいサロン耳成	1 5	5 2 1	月1回開催 開催ごとに異なります。
耳成南	耳成南ふれあいサロン イトヤキ会	2 3	7 0 6	第2・第4日曜日 午後1時30分～午後3時30分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	2 3	7 7 0	第2・第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	8	2 8 4	第4金曜日 午前10時～正午
合 計		4 1 9	1 5, 3 3 9	

(3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月9日	各サロンの運営や状況等について	59
2月18日	各サロンの運営や状況等について	36

家族介護者交流事業

家族介護者交流リフレッシュ事業(20,000円)

家族介護者交流受託事業(296,000円)

▽要介護高齢者等を在宅で介護している家族の心身の負担を少しでも軽減するため、介護者同士の交流や相談等を実施する。

(1) 主な収支状況

市受託金	200,000円(収)
参加者負担金	96,000円(収)
地域福祉活動支援事業から繰入	20,000円(収)
リフレッシュサロン活動のための助成金	20,000円(支)
宿泊バスツアー等事業費	296,000円(支)

(2) 家族介護者のつどい宿泊バスツアー実施状況

開催日	内 容	参加者数
12月6日、7日 (1泊2日)	内容 宿泊バスツアー 場所 瀨峡、くじらの博物館等	12

(3) リフレッシュサロン

日時 毎月第2金曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所 保健福祉センター南館3階 講座室2

リフレッシュサロン実施状況

名 称	回数	延参加者数
リフレッシュサロン	12	38

ボランティア推進事業

ボランティア推進事業（3,490,555円）

（1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	1,605,538円〈収〉
ボランティア活動保険加入	1,408,820円〈収〉
ボランティア活動保険掛金	1,408,820円〈支〉
福祉教育推進校への助成金	1,117,000円〈支〉
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	355,300円〈支〉
広報・啓発費用	79,531円〈支〉
その他事務費・事業費	529,904円〈支〉

（2）福祉教育推進校（小学校16校、中学校6校 計22校）

▽地域に根ざしたボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う。

小学校・・・耳成、耳成南、耳成西、晩成、鴨公、香久山、畝傍南、畝傍東、畝傍北、白樫北、白樫南、今井、真菅、真菅北、金橋、新沢

中学校・・・畝傍、樫原、光陽、白樫、大成、八木

（3）保険業務取扱状況

加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額（円）
ボランティア活動保険	284	3,688	1,408,820
ボランティア行事用保険	123	4,805	137,208
福祉サービス総合補償	4	延1,907	59,624
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	39	381,160
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	10	延15,447	417,069
合 計	422		2,403,881

補償請求状況

保険種別	件数	補償内容
ボランティア活動保険	3	けがの補償3件
ボランティア行事用保険	—	
福祉サービス総合補償	—	
送迎サービス補償	—	
社協の保険	—	
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	1	けがの補償1件
合 計	4	

心配ごと相談事業

心配ごと相談事業（942,234円）

▽日常生活を営むうえで抱える心配ごとや悩みごとについての相談に応じ、適切な助言を行う。

日時 毎週火曜日 午前9時～正午（受付：午前11時30分まで）

毎週木曜日 午後1時～午後4時（受付：午後3時30分まで）

場所 保健福祉センター南館3階 相談室1

（1）主な収支状況

市補助金 708,000円（収）

地域福祉活動支援事業から繰入 234,234円（収）

相談員報酬等 942,234円（支）

（2）心配ごと相談状況（100回開催・相談者93名）

区分	直ちに解決したもの	再来を要するもの	民生児童委員を紹介した	他機関を紹介した	その他	取扱延件数
1 生計				4	4	8
2 年金						0
3 職業					2	2
4 生業						0
5 住宅	2			1	6	9
6 家族					24	24
7 結婚					1	1
8 離婚	2			1	5	8
9 健康				1	2	3
10 衛生						0
11 医療					5	5
12 精神衛生					10	10
13 人権					1	1
14 法律	4	1			9	14
15 財産	3				10	13
16 事故					2	2
17 児童福祉・母子保健						0
18 教育						0
19 青少年						0
20 心身障がい者(児)福祉					1	1
21 父子福祉						0
22 母子福祉					1	1
23 老人福祉				1	2	3
24 苦情						0
25 その他	1				23	24
合計	12	1	0	8	108	129

(3) 心配ごと相談事業研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月3日	講義 「ご存知ですか？土地や建物の相続登記手続」 講師 奈良地方法務局橿原出張所所長 <small>ふさもとつとむ</small> 房本 務 氏	18

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業（10,796,180円）

▽歳末たすけあい募金の一部を市内高齢者施設及び障がい者施設に歳末見舞金として配分する。

歳末見舞金

施設名	配分額（円）
橿原園	80,000
かなはし苑	80,000
桃寿園	80,000
香久山インパレス	80,000
橿原の郷	80,000
ぼれぼれケアセンター白樺	40,000
バンデ（絆）	80,000
花樺	40,000
リンク橿原	40,000
ケアステージみみなし	40,000
万葉テラス	40,000
大和三山	40,000
鷺栖の里	40,000
あさひの	40,000
たけのこ園	40,000
橿原市福祉作業所	30,000
ステップあすか	30,000
生活支援センターはるかぜ	30,000
合 計	930,000

※一部、善意銀行への指定寄付を活用

▽子ども総合支援センター発達支援事業かしの木園にクリスマス訪問等を行う。（12月19日）

対象者298名

(1) 主な収支状況

地域福祉配分金	6,207,722円（収）
地域歳末たすけあい募金配分金	4,588,458円（収）
地域福祉配分金の配分（自治会、民協等）	2,020,500円（支）
歳末見舞金として配分	827,760円（支）
児童を対象としたクリスマス訪問	48,000円（支）
その他歳末施設訪問のための事業費	163,000円（支）
各事業に共同募金配分金の繰出	7,736,920円（支）

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業（3,872,500円）

▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、生活保護受給世帯の生活を経済的に支えるとともに、社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行うことで、これらの世帯の自立支援に努める。

（１）主な収支状況

県社協受託金	3,872,500円（収）
人件費	2,607,247円（支）
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	313,500円（支）
事務所使用料	187,113円（支）
非常通報装置の設置	60,912円（支）
その他事務費	703,728円（支）

（２）生活福祉資金相談状況

相談件数	253件
内訳	総合支援資金28件 (生活支援費23件、住宅入居費3件、一時生活再建費2件) 教育支援資金33件、福祉資金64件、不動産担保型生活資金13件、 緊急小口資金70件、臨時特例つなぎ資金23件、その他22件

（３）生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額（円）
1. 生活支援費	2	782,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	1	303,000
4. 教育支援資金	13	4,609,000
5. 福祉資金	16	5,039,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	27	2,385,000
8. 臨時特例つなぎ資金	22	1,852,000
合計	81	14,970,000

（４）生活福祉資金償還完了状況

資金種別	件数	償還金額（円）
1. 生活支援費	1	912,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	48	25,602,000
5. 福祉資金	9	2,411,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	26	2,137,000
8. 臨時特例つなぎ資金	17	1,383,000
9. 離職者支援資金	—	—
合計	101	32,445,000

▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、安心・安定した生活に向けた相談支援につなぐために、緊急食料支援を行う。

(1) 実施状況

利用者数 19名

支援食品数 747個（味付きブロック、缶詰、レトルトご飯、うどん、うどんスープ、雑炊、レトルトカレー、即席ラーメン、クラッカー、粉ミルク）

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業（1,627,440円）

(1) 主な収支状況

寄付金 2,235,155円（収）

歳末見舞金の一部として払出し 102,240円（支）

前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出 1,525,200円（支）

(2) 善意銀行運営状況

区分	事項	件数	金額（円）
収入の部	1. 一般寄付	76	1,070,898
	2. 指定寄付	38	1,164,257
	(1) 地域福祉のために	17	1,049,721
	(2) 高齢者のために	1	9,500
	(3) 障がい者のために	20	105,036
	3. 受取利息		25
	4. 前年度からの繰越金		1,627,440
	合計（A）		3,862,620
支出の部	1. 歳末見舞金等に払出		102,240
	2. 各事業に払出		1,525,200
	(1) 地域福祉活動支援事業		1,491,590
	(2) 善意銀行預託金事業		33,610
	合計（B）		1,627,440
	差引合計（A）－（B）		2,235,180

※ 差引合計2,235,180円については、令和元年度へ繰越

善意銀行預託金事業

善意銀行預託金事業（33,610円）

▽「障がい者ふれあいデー」（橿原市主催）への参加・協力

実施日 8月21日

参加者 94名

▽ひとり親家族交流バスツアー（台風12号のため中止）

(1) 主な収支状況

善意銀行運営事業から繰入 33,610円（収）

ひとり親家族交流バスツアーにかかる事業費 33,610円（支）

地域福祉基金運営事業

地域福祉基金運営事業（５７６，８４０円）

（１）主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息	76,840円（収）
地域福祉基金積立資産の取崩	500,000円（収）
地域福祉活動支援事業に繰出	576,840円（支）

（２）地域福祉基金積立資産運営状況

（単位：円）

期首残高（平成30年4月1日）	94,123,652
取崩額	500,000
期末残高（平成31年3月31日）	93,623,652

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（992，640円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利を擁護し、福祉サービスの利用援助、日常生活の相談や金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活できるよう支援する。

（１）主な収支状況

県社協助成金	476,540円（収）
利用者負担金	516,100円（収）
生活支援員人件費	599,797円（支）
広報・啓発費用	79,531円（支）
事業費・事務費	313,312円（支）

（２）実施状況

契約者数 40名（平成31年3月31日現在）

支援時間数 751.5時間

契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
終了件数	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	2	9

相談状況

	問合せ件数 （制度・事業について）	初回相談件数	相談援助件数※	合計
4月	3	1	10	14
5月	4	0	5	9
6月	1	1	1	3

7月	0	1	3	4
8月	0	0	7	7
9月	2	0	8	10
10月	3	2	6	11
11月	2	0	10	12
12月	3	1	8	12
1月	1	1	38	40
2月	0	0	39	39
3月	0	2	40	42
合計	19	9	175	203

※4月から12月までは、契約者の援助件数を記載。1月以降は、これに未契約者及び契約者からの問い合わせ・相談件数を含めて記載

(3) 生活支援員養成講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
6月21日	日常生活自立支援事業の概要と現状について 高齢者、知的・精神障がい者への理解と支援について等	9

訪問介護事業

訪問介護事業（37,911,272円）

▽要介護者に対するホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

▽要支援者に対するホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）に対し、適切な第一号訪問事業を提供する。利用者が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	22,444,278円〈収〉
総合事業収入	11,195,022円〈収〉
利用者負担金（要介護）	2,927,892円〈収〉
利用者負担金（要支援）	1,336,327円〈収〉
職員、嘱託職員、ヘルパー人件費	34,903,371円〈支〉
事務所使用料	561,340円〈支〉
訪問介護システム利用料	90,720円〈支〉
広報・啓発費用	79,531円〈支〉
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	1,676,310円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	600,000円〈支〉

(2) ヘルパー派遣（訪問介護）実施状況

	活動者数	利用者数	生活援助（時間）	身体生活（時間）	身体介護（時間）
4月	29	52	351.5	175	205.5
5月	31	52	417	146	218
6月	28	50	356.5	168.5	189.5
7月	29	45	328	172	169.5
8月	31	48	293	197.5	190.5
9月	28	48	266	175.5	184
10月	29	51	280.5	176.5	180.5
11月	28	49	273	175	167
12月	29	49	241.5	173	163
1月	29	47	210	212	155
2月	28	52	203.5	185	187
3月	29	50	231.5	165	210.5
合計	348	593	3,452	2,121	2,220

(3) ヘルパー派遣（第一号訪問）実施状況

	活動者数	利用者数	活動時間（時間）
4月	35	76	360
5月	32	73	387.5
6月	33	74	368.5
7月	34	77	389.5
8月	34	76	406.5
9月	35	79	371.5
10月	35	76	402
11月	36	72	367
12月	35	73	342
1月	36	67	318
2月	33	64	298.5
3月	35	67	322
合計	413	874	4,333

(4) ヘルパー定例会（研修）実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に毎月1回実施する。

開催日	内 容	参加者数
4月24日	橿原市社会福祉協議会地域福祉係の取組について	23
5月25日	認知症の症状と対応について	20
6月26日	事例検討会	17
7月25日	高齢者・障がい者の病状等に応じた調理法について	18
8月24日	ヒヤリ・ハット検討会	13
9月25日	ヘルパー活動における腰痛対策について	17
10月24日	精神障がい者の理解と対応について	19
11月22日	意見交換会	12
12月25日	口腔ケアについて	18
2月22日	訪問時のマナー、気配りについて	12
3月25日	事例検討会	14

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業（12,320,927円）

▽障がい者（児）に対するホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助等を支援する。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を要する方の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を支援する。

（1）主な収支状況

居宅介護給付費収入	7,782,607円（収）
重度訪問介護給付費収入	1,580,803円（収）
同行援護給付費収入	2,711,494円（収）
利用者負担金	257,602円（収）
嘱託職員、ヘルパー人件費	11,892,147円（支）
障害福祉システム利用料	129,600円（支）
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	299,180円（支）

（2）ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介護 (時間) ※介護を 伴わない	重度訪問介護 (時間)	同行援護 (時間)	
							※介護を 伴わない	※介護を 伴う
4月	28	32	0.5	312.5	10.5	83	117.5	3
5月	28	33	0	320	5	103	126	2
6月	27	32	0	310.5	11	88	101.5	0
7月	27	33	0	317.5	9	94.5	97.5	0
8月	26	31	0	296	10	45	73	0
9月	26	32	0	277	8.5	41	104.5	0
10月	28	32	0	316	14	53	106	0
11月	26	33	0	309	12	47.5	116	0
12月	26	32	0	287	7.5	45	102	0
1月	28	32	0	299.5	9	45	101.5	0
2月	27	34	0	326	13.5	40	109	0
3月	27	34	0	322	5.5	44	86	0
合計	324	390	0.5	3,693	115.5	729	1,240.5	5

移動支援事業

移動支援事業（1,162,576円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

（1）主な収支状況

市受託金	1,284,414円（収）
------	---------------

利用者負担金	31,046円〈収〉
ヘルパー人件費	771,241円〈支〉
事務所使用料	187,113円〈支〉
その他事業費・事務費	204,222円〈支〉

(2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	移動支援 単独保障型 (時間)	移動支援 単独補助型 (時間)	移動支援 単独介護型 (時間)
4月	5	7	25	8	9
5月	6	7	45.5	0	12
6月	7	7	27	0	10.5
7月	9	10	37	8	5
8月	7	6	18.5	0	19.5
9月	8	9	53.5	0	17.5
10月	8	9	33	8	18
11月	8	8	37	0	22
12月	6	7	27.5	0	19
1月	6	8	32	0	19
2月	6	7	23.5	0	15.5
3月	6	7	34.5	0	22
合計	82	92	394	24	189

包括的支援事業

包括的支援事業(98,194,000円)

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療等さまざまな悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

(1) 主な収支状況

市受託金	98,194,000円〈収〉
人件費	59,703,021円〈支〉
かしはら街の介護相談室委託費	33,840,000円〈支〉
包括的・継続的ケアマネジメント事業費	143,140円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	748,874円〈支〉
広報・啓発費用	348,062円〈支〉
事務所使用料	1,496,904円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事務費・事業費	1,913,999円〈支〉

(2) 総合相談・支援事業

▽高齢者やその家族等から様々な相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるように支援する。

相談状況

区 分	件数
介護保険	997
認知症	108
病気	12
医療機関	130
家族	26
生活資金	3
介護予防	8
日常生活支援総合事業	32
日常生活	106
ケアマネ支援	20
その他	31
合 計	1,473

(3) 権利擁護事業

▽高齢者の虐待防止、早期発見、早期対応などを行うとともに、成年後見制度（財産管理や重要な契約などの支援）等の活用促進を支援する。

相談状況

	虐待	権利擁護	合計
相談件数	24	26	50
実人数	24	17	41

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

▽利用者がどのような状況にあっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう関係機関と連携し、継続的に支援できるよう努める。また、地域のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談に応じ、より質の高いケアマネジメントができるようケアマネジャー同士のネットワークづくりを支援する。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にケアマネジャー支援研修会を実施する。

ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
5月15日	内容 第7期榎原市介護保険事業計画について 講師 榎原市福祉部地域包括支援課及び介護保険課 担当職員	85
6月22日	内容 介護予防サービス・支援計画書の作成について 講師 地域包括支援センター職員 ※経験年数3年未満の方対象	17
8月31日	内容 自立支援に向けたアセスメント実施のポイントと意識 講師 テンダーヒル御所わかば館 館長 <small>つるたひろし</small> 鶴田浩史 氏	73
11月21日	内容 榎原市の自立支援地域ケア会議について 講師 市地域包括支援課及び地域包括支援センター職員	69
1月24日	内容 社会資源と地域資源について 講師 地域福祉係及び地域包括支援センター職員	47
3月25日	内容 アセスメント基礎講座～目的と実施のポイント～ 講師 兵庫県対人援助研究所 主宰 <small>いぬまつまこと</small> 稲松真人 氏	61
	合 計	352

(5) かしはら街の介護相談室との連携

▽社会福祉法人や医療法人の協力を得て設置しているかしはら街の介護相談室の機能強化を図り、地域における高齢者の総合相談窓口として、より一層の充実を目指す。

かしはら街の介護相談室（小学校区）

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
耳成	榎原の郷	白榎南	桃寿園
耳成南	ケアステージみみなし	白榎北	桃寿園
晩成	あすならホーム畝傍	今井	ぼれぼれケアセンター白榎
鴨公	大和三山	真菅	ぼれぼれケアセンター白榎
香久山	香久山インパレス	真菅北	榎原の郷
畝傍東	榎原園	耳成西	榎原の郷
畝傍南	榎原園	金橋	かなはし苑
畝傍北	あすならホーム畝傍	新沢	西井クリニック

かしはら街の介護相談室（中学校区）

中学校区	事業者名	中学校区	事業者名
八木（北）	ケアステージみみなし	大成	かなはし苑
八木（南）	香久山インパレス	榎原	榎原の郷
畝傍	平成まほろば病院	光陽	桃寿園
白榎	榎原園		

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者が連携を図り、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を検討するため、地域ケア会議を開催する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
在宅医療・介護連携地域ケア会議	14

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種により課題及び背景・原因の分析をより深めていくことで、要支援者等の自立支援の検討のため、地域ケア会議を開催する。

個別レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
自立支援地域ケア会議	19

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ランチ連絡会を開催する。

ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
4月17日	グループワーク「平成30年度いちばん力を入れて取り組むこと」 「褥瘡シートについて（大成中学校区）」	19
6月19日	グループワーク「生活支援地域ケア会議の実施に向けた取り組み」	18
8月21日	平成30年10月からの第2期“かしはら街の介護相談室”受託法人について 生活支援地域ケア会議開催報告について 在宅医療・介護連携地域ケア会議開催報告について 自立支援地域ケア会議について	25

10月16日	小・中学校区かしはら街の介護相談室の業務説明について 第2回生活支援地域ケア会議開催に向けた進捗状況の報告について	28
11月20日	市在宅医療・介護連携地域ケア会議報告 かしはら街の介護相談室の業務について	25
12月18日	第2回生活支援地域ケア会議報告 かしはら街の介護相談室業務等に関する質疑応答	28
1月15日	月報の記入方法について 生活支援地域ケア会議活動報告について お役立ちいきいき講座について	27
2月19日	かしはら街の介護相談室活動報告会	21
3月12日	かしはら街の介護相談室活動報告会	29
合 計		220

▽地域住民に地域包括ケアシステムや高齢者虐待防止への理解を深めてもらうため、かしはら街の介護相談室と連携し、お役立ちいきいき講座を開催する。

お役立ちいきいき講座実施状況

開催日	テーマ	対象者	参加者数
1月17日	地域包括支援センターの周知・啓発	縄手町ミニサロン	18
1月31日	地域包括支援センターの周知・啓発	石原田町老人会（双葉会）	30
3月16日	高齢者虐待防止の周知・啓発	今井町老人会 （今井なごみ会）	19

認知症総合支援事業（7,314,000円）

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医などと連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

（1）主な収支状況

市受託金	7,314,000円（収）
人件費	5,175,515円（支）
認知症講座開催費用	449,783円（支）
認知症カフェ開催費用	13,424円（支）
認知症囑託医委託費	240,000円（支）
認知症初期集中支援チーム専門医報償費	240,000円（支）
地域包括支援センターシステム保守料等	55,603円（支）
広報・啓発費用	405,572円（支）
事務所使用料	187,113円（支）
弁護士法律相談費用	103,000円（支）
その他認知症関係事業費	443,990円（支）

（2）認知症地域支援推進員の相談状況

相談件数968件（実人数91名）

(3) 認知症初期集中支援チームの設置

▽認知症の人やその家族に早期に関わることを目的に、専門医を含む複数の専門職が支援方針を検討する。

認知症初期集中支援チーム員会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
認知症初期集中支援チーム員会議	12	58

(4) オレンジカフェ実施状況

▽認知症の本人や家族等が集い、交流や情報交換ができる場として「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催する。

日時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健福祉センター南館3階 講座室1

オレンジカフェ実施状況

名 称	回数	延参加者数
オレンジカフェ（認知症カフェ）	12	218

▽認知症カフェを開催する関係機関が集い、情報交換ができる場として開催される認知症カフェ連絡会に参加する（3回）。

(5) 認知症講座実施状況

▽認知症に対する理解を深めるとともに認知症の早期発見や早期対応につなげるため、認知症講座を開催する。

認知症講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
9月8日	講義 「認知症“最新の診断と治療” ～認知症の正しい知識を学ぼう～」 講師 済生会中和病院 脳神経外科部長 仁木陽一 ^{にきよういち} 氏 その他 かしはら街の介護相談室による認知症予防体操 場所 奈良県社会福祉総合センター6階 大ホール	437

(6) 認知症便利帳の改訂

▽認知症便利帳を改訂し、広報「かしはら」への折込配布により、認知症に関する相談窓口の周知や情報提供などを行う。

任意事業（124,000円）

▽認知症高齢者やその家族を地域で見守り、支援する「認知症サポーター」を養成するため認知症サポーター養成講座を開催する。また、児童を対象に、福祉教育の一環として「認知症キッズサポーター養成講座」を開催する。

認知症サポーター養成状況

講座開催日	対 象 者 等	養成者数
5月12日	市民（社協だより「いきいき」で募集）	14
5月21日	橿原の郷職員、利用者家族、地域住民（午前の部）	9
5月21日	橿原の郷職員、利用者家族、地域住民（午後の部）	14
6月23日	げんきイキイキ教室参加者	21
6月28日	香久山小学校4年生、学年担任※	20

7月5日	新沢小学校3年生、学年担任※	43
7月8日	曾我町住民	22
7月22日	ぼれぼれ白檀職員、利用者家族、地域住民	32
8月2日	小槻町住民	24
9月26日	市民（社協だより「いきいき」で募集）	8
10月23日	真菅小学校4年生、学年担任※	124
10月24日	耳成小学校4年生、学年担任※	101
11月8日	畝傍北小学校4年生、学年担任※	35
11月19日	白檀中学校1年生、学年担任※	43
12月7日	真菅北小学校区地域住民	12
1月17日	檀原市介護予防教室参加者	27
2月18日	檀原市消防署職員	17
2月19日	白檀南小学校3年生、学年担任※	25
2月21日	県営檀原団地住民（らくらく会）	27
3月8日	白檀北小学校4年生、学年担任※	36
合 計		654

※は認知症キッズサポーター

▽認知症サポーターを対象に、より認知症についての理解を深めるため講座を開催する。

認知症サポーターステップアップ講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
11月13日 (1回目)	講義「認知症への理解を深める」 グループワーク「認知症の人の視点に立った支援や対応の検討」	8
11月21日、 22日(2回目)	実習「認知症の人との関わりを通して対応を学ぶ」	8

(1) 主な収支状況

市受託金	124,000円〈収〉
広報・啓発費用	79,531円〈支〉
認知症サポーター養成にかかる事業費	44,469円〈支〉

生活支援体制整備事業（967,000円）

▽高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進と、提供体制の構築に向け、生活支援コーディネーターを配置する。

▽社会資源の把握のため、かしはら街の介護相談室と連携して、高齢者にとって日常生活に役立つ次の情報を調査し、冊子として作成・更新する。

- ・日常生活品配達サービス
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗
- ・買い物支援サービス協力店

▽かしはら街の介護相談室の協力を得て、各町の地域特性などの情報を収集し、現状や課題を分析するための「町ごとのアセスメントシート」を作成・更新する。

▽小学校区の現状や課題を地域住民と共有し、解決に向けた検討のため、買い物支援・居場所づくり等をテーマに地域ケア会議を開催する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	32	902

(1) 主な収支状況

市受託金	967,000円 (収)
人件費	834,570円 (支)
広報・啓発費用	79,531円 (支)
生活支援サービスの体制づくりのための事業費	52,899円 (支)

介護予防支援事業

介護予防支援事業 (76,341,357円)

▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者に対し、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう支援する。

▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう支援する。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	41,136,599円 (収)
総合事業収入	33,698,365円 (収)
人件費	23,776,966円 (支)
介護予防プラン等作成委託費	48,948,820円 (支)
介護予防支援システム取得・保守料等	725,235円 (支)
事務所使用料	561,339円 (支)
弁護士法律相談費用	103,000円 (支)
固定資産取得費 (パソコン3台)	504,360円 (支)
その他事業所運営にかかる事務費・事業費	1,721,637円 (支)

(2) 介護予防ケアマネジメントAプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	12	215	227	16	364	380	607
5月	11	215	226	12	363	375	601
6月	7	219	226	13	360	373	599
7月	11	212	223	8	364	372	595
8月	8	211	219	15	360	375	594
9月	10	205	215	13	374	387	602
10月	18	199	217	10	381	391	608
11月	15	212	227	8	377	385	612
12月	12	219	231	5	369	374	605
1月	10	224	234	5	350	355	589
2月	17	245	262	9	321	330	592
3月	21	241	262	7	329	336	598
合計	152	2,617	2,769	121	4,312	4,433	7,202

介護予防ケアマネジメントBプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	1	50	51	0	2	2	53
5月	0	48	48	0	2	2	50
6月	3	45	48	0	2	2	50
7月	1	48	49	0	3	3	52
8月	2	45	47	0	3	3	50
9月	1	44	45	0	3	3	48
10月	2	43	45	0	2	2	47
11月	2	44	46	0	3	3	49
12月	1	43	44	0	1	1	45
1月	3	40	43	0	2	2	45
2月	1	40	41	0	1	1	42
3月	2	37	39	0	1	1	40
合計	19	527	546	0	25	25	571

(3) 介護予防ケアプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	2	158	160	15	571	586	746
5月	5	150	155	20	575	595	750
6月	4	156	160	13	585	598	758
7月	4	159	163	8	597	605	768
8月	9	154	163	9	576	585	748
9月	6	159	165	11	584	595	760
10月	4	162	166	18	584	602	768
11月	10	163	173	14	589	603	776
12月	14	165	179	5	599	604	783
1月	10	171	181	9	574	583	764
2月	12	186	198	12	555	567	765
3月	11	197	208	16	564	580	788
合計	91	1,980	2,071	150	6,953	7,103	9,174

委託契約事業所件数 80件 (平成31年3月31日現在)

(注釈)

サービス区分名

事業名(決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出